

● 関西文化学術研究都市記念公園

<p>前回検証結果</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の設置趣旨と立地環境を踏まえ、より多くの府民利用を促進する取組を実施すること。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント予定を新聞社や地域情報誌等のメディアに送付し、広域広報を継続して実施。 ・桜、ホタル、紅葉等、広域からの集客を見込める内容については、折り込みチラシを作成し、広報を強化。 ・より広範囲への情報発信を目指し、引き続き、HP、Facebook や Twitter などインターネット上の情報発信を充実。
<p>取組の結果</p>	<p>◇令和元年度に過去最高の利用者数を達成。</p>
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆府民の認知度の更なる向上。 ◆施設の老朽化に伴う維持修繕費の増加。 ◆指定管理区域外の森林区域におけるナラ枯れによる景観への影響。
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □学研都市の附属施設のような位置付けではなく、学研都市のより積極的な魅力発信の中核拠点となれるように、国内外の研究者や留学生にその魅力を発信することが必要である。 □学研都市全体としてコンベンションや会議等を積極的に誘致してきた経過を踏まえ、「学研都市の中の公園」をセールスポイントとし、けいはんなの各施設との協働によるイベントの企画等、府として集客に関わって事業を行う努力が必要である。 □京都の造園の技術や文化等を学ぶ学生たちの研修の場として、本施設を活用していくことも検討してはどうか。
<p>京都府の検証結果 及び対応方向</p>	<p>継続</p> <p>◎関西文化学術研究都市という立地を生かした魅力の発信や事業の企画など特色ある施設運営を行い、より幅広い利活用を図ること。</p> <p><今後の対応></p> <p>○本公園の特色である、日本庭園や造園技術等の日本文化を国内外の人々へ発信するイベントや、周辺施設と連携した広域的な情報発信活動を強化する。</p>